

# みやまえ地域カルタ 向丘中学校区版

## いつまでも、伝えたい、残したい、私たちのふる里

**あ** 朝霧だ  
すぐに晴れるよ  
平小

平小は、高台にある小学校です。校舎にもデザインされている三本松が校舎前にあります。学校のまわりには霧が出やすいよう。登校時の感動が素直に表現されています。

**い** 生き物が  
いっぱいいるよ  
森林公園

東高根森林公園は、自然林に近い形で整備された公園で、多摩丘陵の自然が残されています。子どもたちは、古代米の田んぼ周辺でザリガニ、沢ガニ、蝶、オタマジャクシなどとふれあっています。

**う** 梅の花  
朝日が昇る  
別所橋

平瀬川に架かる別所橋は、宮前区と高津区との区境近くにあります。付近に花弁栽培の農家があり、春先は蝶梅、梅、レンギョウ、桜などがたくさん咲いて、通学、通学の人々を楽しませてくれます。

**え** 絵馬堂に  
願いを込めて  
手を合わせる

絵馬堂は神木山等覚院の仁王門をくぐってすぐ左手にあります。たくさん絵馬が奉納されており、天井のほうには古い絵馬も多く掲げられています。

**お** お年寄りの  
笑顔が  
フレンド神木

フレンド神木は平成18年4月に開設された特別養護老人ホームです。向丘中学校の体験学習、平小全校児童による施設訪問、施設秋祭りなど地域との交流も活発です。

**か** 柿の木坂  
登りつめれば  
古代の丘

柿の木坂は、森林公園の西側にあります。かつて、坂の下あたりに柿林があったといわれています。頂上近くは急坂で、登りきった先の道は、東高根森林公園の古代植物園、古代広場へと続きます。

**き** きよき森  
今よみがえる  
向丘

向丘中学校区の北側は東高根森林公園を中心に、多摩丘陵の丘が続いています。農地や林地の宅地化が進む中で、東高根森林公園を整備することで森が残されています。緑の保全には、地域のボランティアなどが取り組んでいます。

**く** 草刈り  
毎年集う  
一本橋

毎年7月の第一日曜日に開催される平瀬川七夕サミットで、平瀬川の両側の草刈やごみ拾いをします。葛のつるや雑草が生い茂り、瞬間に汗ひびつしりとなり、下流を担当する人にとっては一本橋付近がひと休みするところ。

**け** ケヤキの木  
季節が変わると  
大変身

けやき平はその名のとおり、ケヤキが道路の両側にたくさん植えられています。春は若葉が美しく、夏は木陰を作り、秋は紅葉が見事です。落ち葉の頃は、近くの人々が毎日清掃して、美観と安全を守ってくれています。

**こ** 古代の森  
どんぐりコロコロ  
しらかし林

都市開発が進み多摩丘陵のしらかしは僅かに残っている程度です。東高根森林公園のしらかし林は学術的価値が認められ県の天然記念物に指定されています。クヌギ、コナラなどのどんぐりができる木もたくさんあります。

**さ** 里山を  
廻りて神木の  
観音堂

森林公園正門西側にある神木観音堂は、等覚院の境外地仏堂で、本尊十一面観世音菩薩が祀られています。大きな数珠が下がっていて、参拝者はお参りの際に回します。準西国稲毛三十三所観音霊場28番の札所です。

**し** 我慢だよ  
向ヶ丘公園の  
クマベンチ

けやき平にある向ヶ丘公園は、季節を問わず子どもたちの遊び場となっていて、周囲をケヤキなどの大木に囲まれています。特に夏は木陰が多く、涼しいところです。公園の一角には、かわいらしい丸太の熊ベンチがあります。

**す** 住みやすく  
自然がいっぱい  
神木本町

神木本町は平瀬川を中心に広がっており、斜面が多いところです。比較的緑が残っていますが、最近では丘を削って開発が進んでいて、農家も減りつつありますが、新鮮な野菜を直売しているところもあり、近くの人に喜ばれています。

**せ** せせらぎを  
感じられるよ  
平瀬川

平瀬川は、昭和30年頃まで、泳いだり釣りをして子どもたちの遊び場でした。その後、周囲の開発と共に汚れてしまいましたが、下水道の整備が進み徐々にきれいになりました。小魚も戻り、サギや川鵜、カワセミも来るようになりました。

**そ** 空の先  
鶴喉坂の  
切り通し

鶴喉坂は昔、この坂の周辺が「鶴ヶ谷」と呼ばれ、鶴の首(喉)のような谷戸だったことが愛称として付けられました。バス停留所「神木不動付近から」二五所塚「付近まで」の坂です。

**た** 平小  
坂道だらけで  
たいらじやない

平小は、坂の上の高台にあるため、児童にとっては毎日の通学はとても大変ですが、元気に通学する子どもたちの姿が見られます。

**ち** 提灯が  
揺れて神木の  
盆踊り

神木本町の納涼大会は、8月第一週の木金曜日に東高根森林公園の駐車場で開催されます。場所柄、高津区からも大勢の人が来て、子どもから大人まで多くの人でにぎわっています。

**つ** ツツジ咲く  
昆沙門天や  
不動尊

等覚院は、本尊が不動明王であるので、不動様とも呼ばれています。寺の縁起によると、不動明王は、日本武尊が東征の折に鶴に導かれ、湯をいれ、お札に植えられた神木で彫られたものです。この神木が地名の由来という説もあります。

**て** 天満宮  
春は桜で  
いっぱい

神木天満宮は、以前、等覚院の境内にありましたが、赤城神社が再建された際に現在の場所に移されました。明治時代、赤城神社は長尾神社に合祀され、天満宮は各長尾の鎮守として残され、戦後、地域住民の要望で社殿が再建されました。

**と** 等覚院  
彩り鮮やか  
ツツジ咲く

等覚院は「つじ寺」としても親しまれ、境内にはオオムラサキやキリシマツツジなど約2000本のツツジが植えられています。樹齢300年におよぶツツジもあり、咲き誇る様子は見事です。毎年4月中旬に見頃を迎えます。

**な** 夏の道  
けやき平は  
涼しいな

けやき平のケヤキ通りは、道路両側の大きなケヤキが木陰を作り、夏の暑さから人々を守ってくれます。

**に** 仁王門  
くぐりて拜む  
等覚院

等覚院の仁王門は明治15年(1882)に建立されたものです。仁王門では口をあげた阿形(あきよ)と口を閉じた吽形(うんぎょう)の金剛力士が上半身裸で睨みをきかせています。

**ぬ** ぬくもりを  
感じて味わう  
わがままイチゴ

平小の近くの住宅街の中にイチゴ農家があり、苗の段階からイチゴのわがままをひとつひとつ聞きながら育てた「わがままイチゴ」と名づけたイチゴを作っています。毎年、春先にはイチゴ狩りも楽しめます。

**ね** 練り歩く  
子どもが主役の  
例大祭

神木天満宮の例大祭では、大きな太鼓を子どもたちが引っ張って、町中を厄払いしながら練り歩きます。坂が多い地域なので、安全に回れるよう地域の大人も手伝いながら、天満宮を登り、日没近くまでかけて町中を回ります。

**の** のそのそと  
狸も顔だす  
王禅寺道

王禅寺道は、溝の口方面から相生にある王禅寺まで続いています。大山街道に出て大山詣でや、川崎大師の縁に行人でにぎわったといわれています。神木本町近辺では森林公園に近いこともあり、今でも時々狸を目にすることがあります。

**は** 花淡し  
皆とやすらう  
妙楽寺

妙楽寺は境内のアジサイが見事なので通称「あじさい寺」と呼ばれています。妙楽寺は中世初期に存在し、吾妻鏡に登場する源家累代の祈禱所であった威光寺との関連があったとされています。

**ひ** ひなびたる  
畑の中の  
千手堂

千手堂は、千手観音を本尊に妙楽寺の境外地仏堂として、古くから地域のの人たちに守られてきました。準西国稲毛三十三所観音霊場29番の札所です。

**ふ** 笛太鼓  
合わせて踊る  
神木の神楽

神木天満宮の氏子によって代々受け継がれてきた神楽は、毎年、例大祭に奉納されます。また地元自治会の敬老会でも、毎年披露され、お参りから喝采を浴びています。

**へ** 平成に  
屋号の残る  
陣屋跡

神木本町1-2丁目の南側には旧家が数多く、「陣屋」と呼ばれる家があります。近く「陣屋」として残る家が数多くあります。近く「陣屋」と呼ばれる家は数多くあります。近く「陣屋」として残る家が数多くあります。

**ほ** ほのぼのと  
心揺さぶる  
長尾けやきの里

長尾けやきの里は、通所型の知的障害者更生施設です。利用者一人が健康で充実した社会生活を送れるように支援することを目的としています。主な作業活動として調理、喫茶、木工、陶芸、染色、織物、下請け作業などを行っています。

**ま** 曼珠沙華  
往時をしのぶ  
二十三夜塔

二十三夜供養塔は、二十三夜の月の出を一刻も早く拝して、五穀豊穡や子孫繁栄を祈る月待ちの行事を記念して建てられたものです。

**み** 道またぐ  
天満宮の  
大桜

神木天満宮には桜の古木があり、その枝の一部が道路上に大きく張り出している。毎年、桜の季節には道行く人や車に花びらが舞い降り、桜吹雪となります。桜の下では近くの人々が花見を楽しみます。

**む** 向中の  
校歌ゆかしき  
タチアオイ

向丘中学校の校歌には、校章にもタチアオイの「あおいの花」が歌われています。タチアオイは、初夏を迎えると畑や道の脇によく見られ、上へ上へと大きな花をつけ、天辺までいくと梅雨明けも近いといわれています。

**め** 目を閉じて  
思いをはせる  
地蔵坊

地蔵坊は、等覚院の近くにあります。地域での言い伝えでは子どもを亡くした親が供養のために、墓石の上に地蔵を置いたといわれています。

**も** 木道だ  
東高根の  
湿生園

東高根森林公園の湿生植物園は、自然の湧き水が利用されており、水田もあり、木道からは、花菖蒲、九輪草、菖草のほか、今ではあまり見ることのできない多摩丘陵の湿生植物ツリフネソウやミソソバなども観賞できます。

**や** 弥生人に  
想いをはせる  
古代広場

現在の東高根森林公園付近に宅地造成計画がありましたが、発掘調査の際、弥生時代の遺跡が見つかり、その周囲のしらかし林に学術的価値が認められて県立公園となりました。古代広場の下には東高根遺跡が眠っています。

**ゆ** ゆつたりと  
並んで滑れる  
神木公園すべり台

神木公園は、地元自治会が中心となり公園の維持管理を行っています。たくさんのお花が植えられており、多くの子どもや親子連れに利用されています。木立の中に、大きな滑り台のある遊具があります。

**よ** よろこんで  
こどもが大勢  
神木歳の神

歳の神(地域ではセノカミと呼ぶ)は、小正月に松飾りやしめ縄などを焚くことと焼くことです。枝先にさした団子を焼いて食べると厄払いになるといわれます。セノカミの由来は、村境の道祖神場で行ったことからです。

**ら** ランドセル  
桜吹雪の  
長尾鯉坂

鯉坂は神木本町から東名高速道路沿いに、多摩区の長尾小学校へ行く途中にあります。恋坂が正しいという説もありませんが、詳細は不明です。頂上付近は森林公園北口に近く、春には桜の花びらが風に運ばれてきます。

**り** りんりんちろちろ  
虫の音響く  
けやき広場

東高根森林公園広場は、広場には小川が流れ、ホタルを始め多くの昆虫を見ることが出来ます。秋になると草むらからスズムシ、コオロギ、キリギリス、マツムシなど多くの虫たちの鳴き声が聞こえます。

**る** ルンロンと  
弾む心の  
ひばり幼稚園

ひばり幼稚園は、敷地内に森があるなど、自然環境に恵まれており、広い土の園庭や大型アスレチックなどもあります。近くの畑を借りて、大根やサツマイモの植え付けや収穫も行っています。

**れ** 練習熱心  
神木獅子舞  
保存会

獅子舞は神木本町の伝統芸能で地域の人達により受け継がれてきました。正月に厄を払い、五穀豊穡を祈願するために行われていますが、最近では敬老会やお祝いの場での舞となつています。神楽囃子、祭囃子、馬鹿囃子などがあります。

**ろ** 路地の脇  
今は昔の  
十三坊塚

神木本町4丁目の、かつて十三坊塚があった所は、現在、何も残されていません。近くには、文化12年の庚申塔を兼ねた道標があり、西王ぜんじ道、東二子道、北ふちう道」と刻まれています。

**わ** わたる風  
田と田をつないだ  
樋場橋

平瀬川の、股下橋の下流に樋場橋。地元ではトヨバシといわれています。昔は、水路橋で、木で橋を作り、両岸の田と田をつないでいたとのこと。



みやまえ地域カルタ 向丘中学校区版

いつまでも、伝えたい、残したい、私たちのふる里



みやまえ

宮前区役所

みやまえカルタ制作実行委員会